



# 高付加価値農産物の6次産業化 あおばなの栽培マニュアル・モデルの構築

あおばなは、葉や茎に血糖値上昇を抑える効果が認められ、健康食品の原料として実需があります。

今年は、有効成分の含有量を増やすため、指定肥料を用いた実証栽培を行いました。また、ヤンマー・アグリジャパン㈱の協力を得て、あおばなの機械化一貫体系の確立に取り組み、畝たて、マルチ敷設、定植、収穫までの一連の作業を機械で対応するモデルを構築しました。

今後は、長浜市内で「育苗、栽培、乾燥加工、製品化、物流」までの6次産業化を目指します。

## あおばな

あおばなは、鮮やかな青色の花弁が特徴のツユクサの栽培変種です。滋賀県草津市では、友禅染の下絵を描く絵具「青花紙」として栽培が続いている。



## マルチ敷設・定植作業（令和元年5月12日）

1条と4条で苗を定植し、生育と収量に及ぼす影響を調査しました。



## 収穫作業1回目（令和元年7月2日）

野菜収穫機による収穫作業の時間は、手刈り作業と比べて、10分の1以下に低減しました。



## 収穫作業2回目（令和元年8月2日）

初回収穫後、1カ月程度であおばなは再生し、2度目の収穫作業を実施しました。

